



ISO 19650

（建築・土木分野における BIM/CIM の情報マネジメントに関する国際規格）

※BIM : Building Information Modeling

ISO 19650 (BIM) とは

ISO 19650 は、「BIM 実施に際して推奨される情報管理の考え方や方法」を国際標準として定めた ISO 国際規格のシリーズです。BIM の取組を世界的に先導する英国が、自国内の標準（BS/PAS1192* シリーズ）を国際的にも導入する目的で ISO（国際標準化機構）へ働きかけを行って整備・発行されました。ISO 19650 国際規格は、BIM (Building Information Modelling) を使用して、建築資産のライフサイクル全体にわたって情報を効果的に管理するためのベンチマークを提供しています。

*BS/PAS1192 : 建設プロジェクトにおける BIM (Building Information Modeling) を用いた情報管理の英国規格

■ 国際標準化による利点

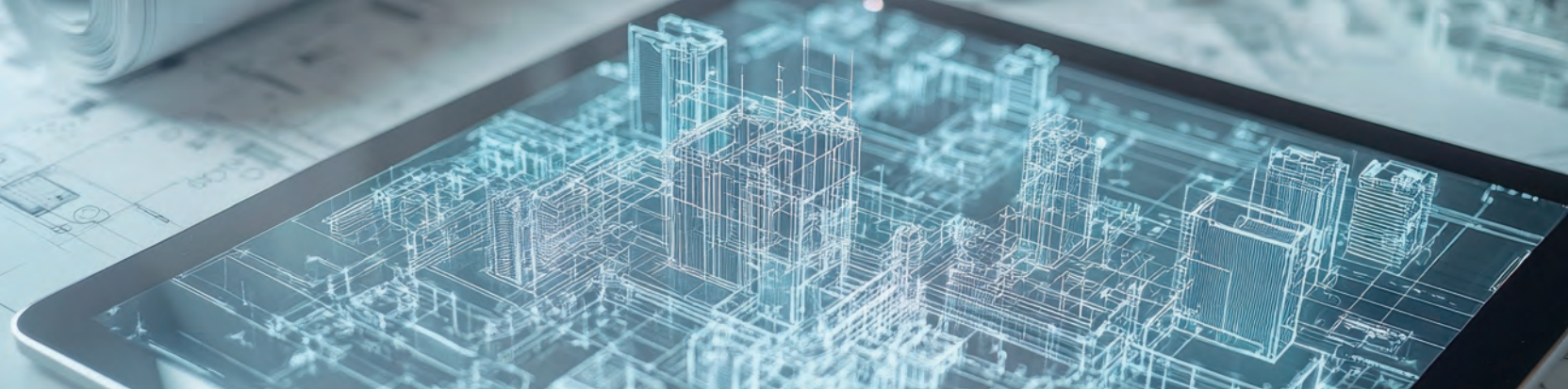
国際標準への移行により、世界中の組織やサプライヤーにとって公平な競争の場が確保されました。資産情報管理における共通のアプローチを通じて、イノベーション、協業、そして競争を推進することが可能になります。ISO 19650 規格は、初期の戦略計画から設計および研究開発、エンジニアリング、プロジェクト開発、文書化および建設、運用、資産管理、改修、修理、最終的な廃止に至るまで、建物情報モデリングのベストプラクティスの鍵となります。



■ 導入によるメリット

ISO 19650 規格シリーズは、建物資産のライフサイクル全体にわたる情報を BIM で管理するためのコラボレーションプロセスを定義しています。導入すると、プロジェクトチームは以下のメリットを得ることが可能になります。

- **情報共有の標準化**
図面や設計図書を共有・パブリッシュ・レビューするための、一貫した標準プロセスを構築できます。
- **安全な情報アクセス**
すべての関係者が必要なときに最新情報へ安全にアクセスできる環境を整備することが可能となります。
- **生産性向上**
情報検索にかかる時間短縮とチーム全体の生産性向上により、効率性の向上とコスト削減が可能となります。
- **効果的な意思決定**
正確で豊富なデータに基づく効果的な意思決定を可能にし、手戻りやミスを最小限に抑えます。
- **プロジェクト管理の最適化**
プロジェクトのコスト・スケジュールを予測しやすくし、さらにデータ管理を徹底して、プロジェクト終了時の情報損



ISO19650の構成

ISO19650は、複数のパートに分かれており、それぞれ異なる業務段階や機能に焦点を当てています。

	対象フェーズ	主な目的	対象読者
ISO19650-1	全体・基本概念	定義と原則の整理	全関係者(特に発注者)
ISO19650-2	設計・施工	実務の情報管理	ゼネコン・設計者
ISO19650-3	維持管理	維持管理対応の情報活用	オーナー・施設管理者
ISO19650-4	CDE運用	情報環境とシステム	BIM/CIMマネージャー
ISO19650-5	情報セキュリティ	サイバー攻撃やリスク管理	高セキュリティ施設関係者

- **ISO19650-1 | 用語と原則(情報管理の基本)**

すべてのパートの基礎となる部分で、建設プロジェクトにおける情報マネジメントの基本原則と用語を定義しています。

- **ISO19650-2 | 設計・施工段階フェーズでの情報管理**

設計・施工段階における情報の取り扱いがまとめられたパートです。

- **ISO19650-3 | 維持管理(FM)フェーズでの情報管理**

建設が完了した後の維持管理における情報活用マネジメントについて定義されています。

- **ISO19650-4 | CDE(共通データ環境)との関係と実践**

CDE(共通データ環境)の技術仕様と運用ルールに焦点があてられたパートです。

- **ISO19650-5 | セキュリティマネジメント(情報保護の観点)**

サイバーセキュリティと機密情報保護に関するガイドラインがまとめられています。

開発中の規格もありますが、上記の発行済規格のいずれか、または複数を選択・適用し、その基準に応じたプロセスを確立・運用していることが監査されます。適合が確認されれば適合証明が発行され、社内外に示すことが可能となります。

ビューローベリタスが選ばれる理由

- グローバルな知見と日本国内3,000件以上の認証実績により、最新規格に対応した審査サービスを提供します
- 各規格の一貫審査と統合運用支援で効率・最適化を実現します
- AIガバナンスやリスクマネジメントに精通した多様な審査員ネットワークがあります

認証事例

Makati Development Corporation (Philippines)

BIM Scope :

ISO 19650-1:2018 および
ISO 19650-2:2018 に
準拠した、設計・施工・
竣工調整においてBIMを
用いたプロジェクト管理
システム

